

福島原発事故3周年シンポジウム

福島第一原発事故から3年経ちました。事故炉の廃止措置が完了するまでに今後さらに30～40年を要するとされています。廃止措置の第一歩として昨年11月から4号機の使用済燃料貯蔵プールから核燃料の取出しが始まりました。しかし、事故現場では現在、増え続け、漏れ続ける汚染水問題が喫緊の課題となっており、とても「収束」したなどと言える状況にはありません。一方、政府は原発依存度を減らすと称しているものの、新規制基準の下で運転停止中の原発の再稼働を企図しています。

そこで下記要領で福島事故3周年シンポジウムを開催し、これらの諸問題について検討を加えたいと考えておりますので、多数の参加を期待します。

1 日時 2014年3月16日(日) 午後1時～4時

2 場所 日本大学歯学部1号館4階第九講堂

JR御茶ノ水駅、東京メトロ千代田線より徒歩3分

3 内容

1) 今 福島原発は！—廃炉措置を問う—

本島 勲 (元電力中央研究所主任研究員)

2) 再稼働阻止に向けての技術的論点

館野 淳 (核・エネルギー問題情報センター事務局長、元中央大学教授)

3) 原発の耐震安全性と活断層問題—志賀原発を事例に—

児玉 一八 (原発問題住民運動石川県連絡センター事務局長)

4) 総合討論

4 主催 日本科学者会議原子力問題研究委員会

核・エネルギー問題情報センター (NERIC)

5 参加費 無料 (ただし資料代500円)

6 問合先 日本科学者会議

文京区湯島1-9-16 茶州ビル9階

TEL 03-3812-1472/FAX 03-3813-2363

